



須木中 学校通信

令和8年3月19日 第12号

文責：教頭 甲斐

「卒業式」

3月16日(月)に「須木中学校第79回卒業式」が行われました。来賓の皆様、保護者の皆様に温かく見守られて、3年生6名が巣立ちました。卒業証書授与では、証書を校長先生から受け取った後、それぞれの今後の夢や決意を表明しました。その中には、家族、先生、地域の方々への感謝が述べられ、将来地域に貢献していこうという意気込みも堂々と発表されました。

校長先生からは「後悔の無い人生を送ってほしい」「あきらめずに挑戦してほしい」「これから更にコミュニケーション力を身に付けてほしい」と未来に向けてのメッセージが送られました。また、剣道も教えに来てくださった教育委員の永井様からは、教育委員会祝辞をいただき、東京大学名誉教授の甘利俊一先生の「学校へは知識を学びに行くのではなく、人の生き様や人生を学び、仲間との連帯を学ぶために行くものだ」という言葉から、「これからの出会いを礎にし、自分の可能性を広げてください」とメッセージをいただきました。答辞では、同級生への感謝の気持ちが熱く語られ、会場が感動に包まれました。卒業生の6名、これからの活躍を期待しています！



「地域貢献活動～小林未来予想図～」

3月13日(金)に、3年生の中間君が作ったパンフレットの贈呈が小林市役所須木支所で行われました。当日は須木支所の鷗野支所長をはじめとするたくさんの支所の方々、報道関係の皆様にお世話になりました。

さて、この「須木パンフレット」はどうして作るようになったのか？これは3年生が「須木を盛り上げるために、地元のニーズを知りたい！」とアンケートを行ったことがきっかけです。アンケートには地域の方々が答えてくださいました。その中で、
【須木の住みやすさ】「自然が良い」「治安が良い」「子育ての環境として良い」
【須木の住みにくさ】「病院の少なさ」「交通の利便が悪い」「生活の利便が悪い」
【須木にどうなってほしいか？】「移住者を増やしたい」「若者・子どものいる町に」「活気がほしい」「よそにない須木ならではの宝を発信してほしい」「観光客にもっと来てほしい」「空き家を利活用してほしい」

などの意見が出てきました。

3年生はそれらの意見をもとに「自然満喫体験型須木ツアープラン作成」や「須木を広めるSNS」「須木の特産をつかったスイーツ作り」「空き家解消プロジェクト・交流スペースづくり(ツリーハウス)」などに取り組みました。その中の一つとして、中間君が須木に来た人に便利なものとして「須木パンフレット」を作成したのです。

今回たくさんの方(学校運営協議会委員の山中さん、ありがとうございました)にご協力いただいたパンフレットは、小林市役所や小林駅横の観光協会においていただく予定です。そして、来年度の2年生が大阪で須木PRに使う案も……。この地域貢献活動は、須木中学校の生徒に引き継がれていきます。3年生の気持ちは次につながっていくのです。地域の皆様、今後の須木中にご期待ください。



【沢山の取材の方に囲まれて答えている中間君の様子】

「しおり贈呈」

3月3日に、更生保護女性会から卒業生にかわいらしい押し花の手作り「しおり」をいただきました。大事にして読書に親しんでほしいと思います。ありがとうございました。



- 7日(火) 始業の日
- 9日(木) **入学式**
- 14日(火) **県数・県英テスト**
- 15日(水) 18日分振休
- 18日(土) 参観日・PTA総会
- 23日(木) **全国学力調査(国・数)**
- 27日(月) 家庭訪問(玄関先)
- 29日(水) 昭和の日
- 30日(木) **全国学力調査(英)**

4月行事予定

【編集後記】

本年度、学校だよりを読んでくださった皆様、ありがとうございました。地域の皆様に学校や生徒の様子を知っていただきたく制作しましたが、楽しんでいただけたでしょうか。今後とも須木中学校をよろしくお願いたします。